喝破だより
四恩の里

喝　破　五　訓

一、よろこんで与える人間となろう
一、いのちを大切にする人間となろう
一、心静かに考える人間となろう
一、使命に生きる人間となろう
一、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

発　行　公益財団法人 喝破道場　社会福祉法人 四恩の里　宗教法人 報四恩精舎　発行者　野田 大燈
住　所　〒761-8004　高松市中山町1501番地9　TEL 087-882-4022　FAX 087-881-5906　一部500円
E-mail　kappa@kappa.or.jp　URL http://www.kappa.or.jp　郵便振替口座　徳島　01630-6-9731

巻頭言

七〇才の発願

―遺り残していた私の仕事―

― 草創期の原点に帰って ―

以来約四〇年、当時十五～六才だった青少年は既に四〇才前後で社会の一員として生活をしている。

その成果は私一人の力ではなく、道場の活動に共鳴して今なお支援下さる方々の善意に他なりません。

時は平成に入り、当時の厚生省より「情緒障害児短期治療施設」開設のアドバイスを受けて福祉法人を設立し若竹学園を開園した。

当時は四国・九州・沖縄初で、全国でも十五番目の医療・教育・生活の支援が可能な最先端の児童施設だった。

これまで喝破道場で受け入れていた不登校等の子どもたちは全員新たな学園で充分な支援が受けられると安堵し、喝破道場は本来念願の禅によるエリート教育が行える、と考えた。

しかし若竹学園は児童相談所経由の措置施設のため、入所には児童相談所の許可が必要だった。

既に義務教育を終えた年令の子ども達は不登校とは看做されず入所対象にはならなかった。

当時はまだ「引きこもり」と言う言葉はなく、義務教育を終えての不登校状態の少年は引き続き喝破道場で受けざるを得なかった。

やがて中卒児者の不登校者が社会問題化して「引きこもり」の名称が市民権を得たような状態となると共に当事者の平均年齢が徐々に上がって二十四～五才となった。

「全国引きこもり親の会」と言うものを当事者の親でもあった奥山さんが組織された。

平成二十二年には引きこもり者数が全国で七〇万人と言われていたが実数は一〇〇万人と専門家は推定していた。

そして近年は「八〇五〇問題」「七〇四〇問題」として福祉の世界への波及が取り沙汰されている。

昨年末にＮＨＫ「心の時代」で道場が取材を受けて放映されたが、電話での問い合わせのみならず、東京・大阪・九州・広島等から実母や祖母、叔母等が来訪されるが、父親の実行動は窺えない。

先日は広島から七〇才の実母が四〇才子息の事で相談に訪れられた。高校時代は快活で自慢の子息だったが、大学受験に二浪してから引きこもりが始まり、心痛めた母が「これからどうするの？」と聞くとパニック状態となって家財道具を投げつけて暴力に及び、幾度か警察に介入してもらったこともあるとか。

以後は夫婦そして本人も将来についての会話は禁句として接してきたが、最近は入浴・着替えもせず、食事は母が二階の部屋前まで届ける夕食のみとか。

両親も年令を重ねて将来どうしたものかと言う切実な相談だった。

悲しい結論だが、保護者が亡くなっての施設入所しかないだろう。

現行の福祉法では引きこもり者のための入所施設はない。「救護施設」のみが収容可能だ。

私の遺り残した仕事は「救護施設」の設置だと考えています。―大燈記―

謹賀新年

本年も変わらぬご法愛の程
宜しくお願い申し上げます。

昭和五十一年秋、修行道場から原野の五色台に帰り「禅の教えで日本を支えるエリート教育を！」と言う青雲の志は当時の社会状況によって逆転し、登校拒否・非行青少年等を受け入れたが、その状況に抗して登校拒否児や非行少年等を受け入れていなければ現在の喝破道場は存在しなかっただろう。

自立塾（一一一）

―　明けまして　おめでとうございます　―

本年も塾生と共に、楽しく、厳しく、日々を行じて参ります。二〇一六年も自立塾を宜しくお願いいたします。

マルシェに出店

五日と二十日にさぬきマルシェに出店しました。マルシェ出店はハーブ園の知名度向上と塾生対象の接客体験の場でもあります。マルシェでは両日とも昨年好評だった【ローズマリーのクリスマスリース作り】のワークショップを開催しました。

大人気のリース作り

小さなお子さんでも手軽に出来るようにリースのサイズは大中小の三種類を準備しました。摘みたてのローズマリーをふんだんに使っていますので爽やかな香りに包まれながら気持ちよく作業できます。自分で作ると愛着も湧きますし、世界に一つだけの特別なリースになります。クリスマス前と言う事もあり大人気でした。皆さんご満足いただいて帰られました。

マルシェに来られたお客様でハーブ園が五色台に有ることを知らない方が多くいらっしゃいます。もっともっと宣伝活動が必要です。

クリスマス会

二十五日は自立塾でもクリスマス会を行いました。

ワインで乾杯♪

メニューは塾生H君のリクエストでクリームシチューと赤ワインなどを準備してお祝いしました。普段は禁酒生活ですが、この日は解禁しました。入塾して初めて口にしたワインを美味しいと喜んで飲んでいました。普段飲んでいない分、より美味しく感じたことでしょう。最後はクリスマスケーキを頂き楽しい時を過ごしました。

クリスマスが終われば年末の片付けと新年を迎える準備が待っています。塾の活動は続くのです。

餅つき

二十八日は恒例の餅つきを行いました。今年は二十七ｋｇの餅米を搗きました。毎年手伝いに来てくださる高野さん夫婦や自立援助ホームで生活している元塾生達が応援に駆けつけ、皆で楽しく餅つきを行いました。

ハーブ餅も好評です

今回はあん入り餅意外にも粉末ハーブを練りこんだハーブ餅も作りました。皆で搗いた出来立ての餅はやはり美味しく笑顔がこぼれます。始めはへっぴり腰だったH君も最後は力強く搗くことができました。この餅つきは年の瀬を感じる自立塾の風物詩です。

頑張れ!!『自立塾』
私達も応援しています。

ぜいへん
蛻変の経営
大坂塾

http://www.osaka-juku.com/

本社オフィス
東京都江東区有明1-4-11-3217
TEL/050-5505-1006

香川オフィス
香川県高松市番町4-2-19
TEL/087-863-6888

『自立塾』
私達も応援しています！

GiftGoods
株式会社ギフトグッズ
新しい世界を楽しもう

株式会社ギフトグッズ
香川県高松市木六条町1205-1
TEL 087-814-4990
FAX 087-814-4991

ハーブ園便り

ハーブティーはどう飲むか？

五色台ハーブ園と名乗っているほどなので、来られるお客様はハーブに関心がある方が多いです。そういうお客様はハーブティーが初めてという方は少なく、お砂糖を添えても使われないケースが圧倒的です。

しかし、中には付き添いで来ていたり、興味はあるけどあまり口馴染みがないという方もいらっしゃいます。ご希望であればお砂糖をお出ししますが、基本お添えしていません。

確かに思い返してみると全くハーブに興味のない頃…ハーブティーを飲む機会がありました。ハーブティーが出ると分かっていて行ったお店でした。初めて飲んだハーブティーは衝撃を覚えるほどのマズさ（笑）苦くて青臭くて…どうしてこんな飲み物があるのかと疑問に思ったほどです（ひどいですね）。ファーストインパクトがそれだったので、砂糖を入れて飲み続けようとは思いませんでした。これがハーブティーなんだと思いましたし。

あなたはハーブティーをどのように飲んでますか？時にはハチミツなどの甘味を入れることがありますか？不思議なものでハーブに興味を持ってからは大概のハーブティーは美味しく感じます。

砂糖を加えようと思ったことがありません。甘くして飲みやすくしたからといってハーブに影響はありません。むしろ飲みやすくアレンジした方が美味しく飲めるならいいです。ミルクティーにしてみたり紅茶と合わせたりチンキ剤やコーディアルを作って取り入れたり様々です。

飲み辛いと感じたらお気軽にお砂糖のご希望をお伝え下さい。残されるよりスタッフは喜びます。

お正月リース作り

二十六日はお正月リースのイベントでした。

ハーブがメインではないものの、五色台の自然から採れた松ぼっくりや松、竹、梅の木、椿などの縁起の良い素材を使って豪華なリースができました。

今回嬉しいことに前回参加していただいたお客様からリースのプレゼントをいただきました♡綿がフワフワかわいくて冬にほっこりするようなリースでとても嬉しいです。わざわざありがとうございました。

一月から三月はイベント、サヌカイト演奏はお休みです。

ハーブカフェゼルコバは火曜水曜定休・十～十七時で営業しております。年始は七日から営業致します。

二〇一六年の五色台ハーブ園・ハーブカフェゼルコバをどうぞよろしくお願いいたします。

★ハーブコーディネーター　えり★

私達も応援しています。
『自立塾』

『自立塾』
私達も応援しております。

外国人技能実習生の受入団体、職業紹介事業

〒760-8063
高松市花ノ宮町3-2-4
協同組合　シーズ
代表理事　長井　慎治
TEL 087-815-0610（代）

〒760-0079
高松市松縄町34-3
協同組合　ワークス
代表理事　矢野　勝美
TEL 087-815-1173（代）

音信

謹啓　突然のはがきお許し下さい。11月29日の「こころの時代」視させて貰いました。野田さんがそのまま出ていてとても嬉しかったです。「随流去」の話「日常生活の課題がそのまま公案なのですね」の話ぶり、どれをとっても無駄のない話で感動の連続でした。お顔のツヤもいいし何よりと存じました。

どうぞご自愛の上、世界の人々の師となっていって下さい。ありがとうございました。奥様、皆々様によろしくお伝え下さい。　謹白

京都市　恵光寺　岸野亮淳

和尚様、早いもので今年も一カ月を切りました。先月下旬より寒くなってまいりました。前回和尚様に「成長してきている。」と誠に勿体なきお言葉で、私なんぞまだまだ未熟な人間であります。日々全力で、不屈の精神で介護タクシーと運転代行の仕事に取り組んでおります。今年も一足早いですが、若竹学園の男の子達にカレンダーも添えて送らせて頂きます。若竹の男の子でしたら、鉄道好きもいるでしょうから、男の子達が集まる部屋に、カレンダーを貼ってあげればさぞかし喜んでくれる事と思います。これから寒くなりますが、温かい静岡茶を道場の皆様で召し上がり、体を温めていただければよいかと思います。

来年は、和尚様もいよいよ古希をお迎えになられます。85歳になる神戸の叔母に、「お前だって還暦や古希なんてあっと言う間だよ。」と常に言われております。私は、和尚様の年になっても介護タクシーと運転代行の仕事を継続出来ればと思っております。一昨日、代行運転業務の最後に浜松市のK寺、I住職様をお送りしました。曹洞宗の僧侶だと申されましたので、和尚様のお話をした所、「喝破道場でしょうか？知っています。」とおっしゃっておられました。私は涙ながら「和尚様と出会い、まだまだ未熟の私ですが心と魂を入れ替えて頂きました。もしも、私は和尚様と出会っていなければどんな自分になっていたかと思いますと、背筋がゾッとする程恐ろしいです。今の私がありますのは、すべて和尚様のお陰であります。」と語りました。I住職様は、「無一文で高松の山の中に禅道場を開設され、しかも児童福祉施設まで開設された事は、とても出来る事ではありません。あれから40年です。野田老師に救われた人はこの40年で千人は軽く超えるのでは…　あなたもそのお一人。あのサッカーの岡田氏から『心の師』と慕われて幸せなお方ですよ。野田老師に巡り会えて良かったですね。」とおっしゃって頂き、私は和尚様の事を涙なくして語る事は出来ませんでした。I住職様にも、私は日々全力で不屈の精神を持って、介護タクシーと運転代行の職に取り組む事を申し上げました。それでは、良い新年をお迎え下さい。今後益々の道場、若竹学園・亀山学園の発展心よりお祈り申し上げます。

静岡県　中西　大介

拝啓　御無沙汰ばかりですみません。

さて、この度のテレビ拝見させていただきました。有難うございました。ほんとうに大事な番組でした。今の時代、いやこれからの時代にどうしても考えていかなければならない切実な問題でした。でも、現実はなかなか深く考えられていない大問題でした。そんな中、テレビを見ている人(自分を含めて)には、すごく優しく伝わってきました。一度しかない人生ですから、心底これで良かったと思えるようにしていきたいと思っています。私も彫刻や書に全力で取り組んでいますが、その根っこの部分にあるものは、少しでもましな自分づくりをすること です。私にとっての修行です。何があっても、いつも確かな自分でありたい…　そんな思いで毎日を生かさせてもらっています。自分の人生のピークは八十歳だと定め、若い時から変わらず今を生きています。大感謝しながらの毎日です。なかなか大人になれない自分にとって先日のテレビ、そして喝破だよりからは勉強させてもらえることがいっぱいです。頭が悪いのにこうした勉強はすごく好きです。これからも頑張りますので、今後ともどうかよろしくお願い致します。

終わりになりましたが大燈様、奥様はじめ御家族の御多幸と御健康を心よりお祈りし、お礼にかえさせていただきます。

追伸　テレビの中の大燈さんのお顔が最高に素晴らしかったです。輝いていました。

愛媛県　近藤　哲夫

大阪市　山口　近香

アウルウッド物語（六）

安部麗子

子ザルの災難

この様子を見ていたソクラーチェ博士は、怒りのあまり目玉が飛び出しそうです。ゴッホオッホ画伯とミミー嬢が止めなければ、飛び出して行ってあっという間に八つ裂きにしていたことでしょう。猛禽類のフクロウには、そんなのは朝飯前なのです。

「こらえてください、博士。作戦通りにヤツらを根絶やしにしなければ、何の意味もありません」

「そうでした。君の言う通りです」と博士は、ハアハアしながら、ゴッホオッホ画伯に従います。

ネコにお願い

真夜中の資材置き場では、あちこちに積まれた材木が、家に組み立てられる前の程よい乾燥を待っています。材木は半分方忘れられているので、もう何年もほったらかしです。カタバミやハハコグサやシロツメグサにとっては、のびのびと手足を伸ばせる素敵な広場です。その茂みには、羽のあるもの、地を這うもの、葉っぱの裏に張り付いているもの、いろんな小さな生き物が、それぞれのいのちを楽しんでいます。

ここはまた、メス猫たちの集会場でもあります。メス猫たちは、真夜中になるとどこからともなく集まってきて、あちこちの居場所で、ただじーっとしています。

人間たちにはそう見えますが、本当は、彼女たちはテレパシーでおしゃべりしているのです。それはどんな動物でも知っていることで、そのやかましさには、たいていの動物が辟易しているのです。今もダルメシアンのおじいさんが、うんざりした顔で遠回りしていったところです。

メス猫たちのおしゃべりときたら、たいていは飼い主の噂話です。それも、いつも同じ話の繰り返しです。猫はとっても忘れっぽい動物なので、堪忍してやってくださいね。

「うちの奥さんときたら、料理のレパートリーが五つしかないの。あとは冷凍食品と缶詰なのよ」

「うちのバカ息子ときたら！勉強している振りばかりで、本当は一日中くだらない漫画本を読んでるか、テレビゲームをやってるだけ。それでも大学受験するつもりだってさ。ククク…」

うちのバカ娘だって、相当なもんよ。デブでブスで怠け者で、ダイエットの本片手に休む間も無く駄菓子を食い続けてるんだから！」

「うちのご夫婦ときたらね、ひっきりなしにタバコを吸うもんだから、カーテンも床も茶色くてベトベトして、もう臭いのなんのって」

「うちの婆さんはエアコンが大好き。夏は凍えるほど寒く、冬はアセモができるほど暑くするの。おかげでしょっちゅう腰が痛いの胃が変だのって…本人は、神経がデリケートなせいだと信じてるんだから笑わせるじゃないの」

「バカねえ、人間て」

「あたしたちでもわかることが、何でわかんないのかしら？」

「頭のレベルが違うんじゃないの」

「そうともいえますなあ」と、いきなりソクラーチェ博士が声をかけます。音もなく舞い降りたので、猫たちはギョッとして、それから胸をなで下ろします。そして、声をそろえてニャーニャーと歌います。

♪まあるい顔にまあるい目
フクロウはネコのお友達
頭が良くってその上スマート
鳥にしとくにゃ勿体無い

ソクラーチェ博士は、目を閉じてうっとりと聴き入っています。歌が終わってからも、そのままじっと動かなかったので、ネコたちは、博士が眠ってしまったのだと思います。そこで、ネコたちも一緒に目を閉じます。

しばらくすると、いきなり博士が歌いだします。

♪スタイル抜群キレイな毛皮
ネコはフクロウの友達さ
音も立てずに千里を駆ける
いやと言わせぬお願い上手
オーッホッホオッホッホ

メス猫たちは、目を細めてニンマリします。

「ボンソワールメダム、エ、メドモワゼル」と博士。

「暇と知恵を持て余している淑女の皆さん。人生は砂時計。あっという間に砂は空っぽ。かけがえのない人生を、無駄なおしゃべりで過ごして良いのですかな？」

「そうね。全くその通り。でも先生、しがないメス猫のあたしたちに、いったい何ができましょう」

シャム猫の奥さんがため息をつきます。

続く

この頁は、
公開していません。

戴き物一覧

11月21日～12月20日

一　お菓子　松山市　﨑山　周治様
一　香川県坂出市　筒井　孝明様
一　高松市　山口　様
一　宮崎県東諸県郡　長友眞紀子様
一　香川県丸亀市　㈱ヒカリ　様
一　和菓子　香川県丸亀市　㈱三野設計　様
一　高松市　うつわのみせ戸倉屋様
一　松山市　﨑山　陽平様
一　神奈川県横浜市　鎌田　松栄様
一　洋菓子　宮崎市　永田美津子様
一　兵庫県三木市　小林　英生様
一　もみじ饅頭　広島県廿日市　延命寺　様
一　東広島市　小瀬　武代様
一　コーヒー　高松市　㈱マリン・ライフ様
一　高松市　高野　正彦様
一　香川県綾歌郡　大石　光昭様
一　ティータイムセット　神奈川県横浜市　春木　豊　様
一　ジュース　高松市　見性寺　様
一　香川県丸亀市　㈱シコクモータース様
一　東京都江東区　森口　五郎様
一　静岡茶　静岡県浜松市　中西　大介様
一　スープ詰合せ　千葉県流山市　宗教法人陽廣院　様
一　オリーブオイルギフト　鹿児島市　江夏　壮様
一　醤油セット　滋賀県彦根市　手塚　紀洋様
一　数の子松前詰合せ　北海道釧路市　定光寺　様
一　長芋　北海道中川郡　井村　和義様
一　北海道河東郡　山下紀美子様
一　鮭　東京都練馬区　青木　薫久様
一　高松市　吉川　元子様
一　生カキ　広島県廿日市　延命寺　様
一　純生うどん　高松市　㈱石の店山田様
一　ハム詰合せ　千葉県木更津市　妙泉寺　様
一　大阪府東大阪市　赤坂　為雄様
一　高知県吾川郡　土居　則男様
一　中華饅頭セット　松山市　法龍寺　様
一　海苔　東京都新宿区　㈱ユーキャン様
一　煮干し　高松市　矢次誠一郎様
一　宍道湖しじみ　兵庫県豊岡市　善応寺　様
一　米・もち米　京都府木津川市　吉岡　優子様
一　ラフランス　新潟市　三幸総業㈱様
一　りんご　山形県天童市　村山　光男様
一　山形県西村山郡　布川　昱哉様
一　神奈川県海老名市　松元　洋一様
一　群馬県利根郡　海圓寺　様
一　香川県三木市　佐藤　秀樹様
一　みかん　香川県さぬき市　白井　泰明様
一　松山市　ブリトーピーター・智子　様
一　愛媛県八幡浜市　常昌寺　様
一　流川香セット　高松市　岩佐佛喜堂様
一　雑巾たくさん　京都府福知山市　大山　義朗様
一　衣類・文具・菓子・コーヒー　高知市　石原　真生様

ご寄付

11月21日～12月20日

愛媛県松山市　﨑山　周治様
山口県萩市　全柳寺　様
鹿児島県鹿児島市　江夏　美智子様
高松市　クリエイティブキューブ様
宮崎県宮崎市　永田美津子様
千葉県我孫子市　野島　共子様
福岡県福岡市　吉祥寺　様
香川県観音寺市　匿　名　様
京都府京都市　光川　澄子様
富山県高岡市　匿　名　様
小野田静子様

平成27年度(12月20日現在)
ご寄付総額は、
二百七十九万七千六百七十円です。
多くの方々に心より感謝申し上げます。

「喝破道場」ご支援のお願い

平素より公益財団法人喝破道場の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。

「禅」を心の拠り所としての活動を展開し、一層の社会貢献を図って参ります。

どうぞ本誌のご購読とご寄付によるご支援を賜りたくお願い申し上げます。

購読料　年間　五、〇〇〇円
ご寄付　一口　五、〇〇〇円
（一口以上、何口でも結構です）

郵便振替口座　01630-6-9731
公益財団法人　喝破道場

賛助広告掲載ご協力のお願い

平素は『自立塾』の活動にご高配を賜り御礼申し上げます。

昭和49年に興されたカッパ禅道場。開山の精神は、自立塾に受け継がれています。揺るぎない思いを胸に今後も活動してまいります。一層のご支援ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

ページの下段一枠
（ヨコ8㎝×タテ6㎝ほど）
年間12回　60,000円
受付　087-882-4022

私達も応援しています。
『自立塾』

キッチン・バス・トイレ・増改築・ボイラー工事
四国ガスショップ・四国電力認定店
高松市上下水道工事指定工事店
㈱広瀬　住宅総合サービス
（本社）高松市末広町6番地9
☎822-5478㏠ ■0120-512677
（屋島店）☎851-3167

十二月の日鑑

5　さぬきマルシェ出店　於　高松サンポート
8　薬師講
11　イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン参加　於　高松イオン
12　新見市護持会見学来山
12　五色台ハーブ園イベント『クリスマスリース作り』
15　山王小祭
15　五色台ハーブ園イベント『サヌカイトｍｉｎｉコンサート』
19　役員会　於　円通寺
21　五色台ハーブ園イベント『お正月リース作り』
26　餅つき
28　目覚めの集い
31

一月の予定

1　元旦　初詣
7　五色台ハーブ園　開園始め
8　始めの薬師講
11　イオン幸せの黄色いレシート キャンペーン参加　於　高松イオン
15　山王小祭
30　禅を聞く会　於　高松サンポートホール

大燈和尚十二月の日鑑

1　圓通寺「定例坐禅会」
2～4　平成27年度社会的養護を担う児童福祉施設長研修会　於　東京全社協灘尾ホール
5　日本精神障害者リハビリテーション学会シンポジュウムで講師出席　於　高知市文化センター
7　社会福祉協議会主催「子育て支援員社会的養護コース」講師出講　於　高松テルサ
14　「四恩の里」第二班　忘年会　於　宇多津町
15　圓通寺「定例坐禅会」
16～17　曹洞宗社会教化審議会　於　曹洞宗宗務庁仏間
21　平成27年度第二回　公益財団法人喝破道場＆社会福祉法人四恩の里合同役員会　於　円通寺
26　自立援助ホーム「なごみハウス圓」ホーム会＆職員会議

大燈和尚一月の予定

1　圓通寺「定例坐禅会」
11　本師法龍寺前住一三回忌法要　於　松山市本寺法龍寺
19　圓通寺「定例坐禅会」
21　高松ＰＨＰ関係「ふれあいサロン」講話　於　高松市内

ボランティア募集中

若者の就労へ向けたがんばりを支えてください。

主な活動内容は塾生のサポートを主体とした菜園の手入れ、ハーブ園の管理、調理補助などです。
資格や経験は要りません。
一歩踏み出そうとしている若者の願いを支えたいと思ったら、ぜひご連絡ください。
住み込みや通い、短期など様々な形での受け入れが可能です。
詳しくは電話にてお問合わせ下さい。
☎０８７-８８２-４０２２

塾生募集！

塾生を募集しています。
（三ヶ月・六ヶ月コース）
「禅」を心の依り拠として
○規則正しい生活リズムの体得。
○自給自足の農作業を通して「体力・気力・忍耐力・持続力・協調性」を涵養。
○卒塾前にはコミュニケーション能力を高めるために付属施設「ハーブ喫茶」で接客体験実施。
○専門家によるメンタルヘルス相談の実施。
詳しくは電話にてお問合わせ下さい。
（０８７-８８２-４０２２）

編集後記

二〇一六年を迎えました。気が付けば喝破道場で活動を始めて九年目になります。二〇〇七年八月、永平寺での修行を終え道場に戻ると、一番初めに出会ったのは小学六年生の男の子Ｙ君でした。元気いっぱいのＹ君は学校に馴染めず夏休みの間だけ来ていました。彼にはほとほと手を焼きました。夏休みが終わると実家に戻りましたが、冬休みになると来るのです。また家で、学校で、悪さをしたのです。彼はイヤイヤです。来たくはないのです。泣きながら祖父に連れられて来ました。おじいちゃんは「こいつの手相は天下取りの手相や。ここで駄目になったらいかん！」と言っていたのが思い出します。冬休みが終わると次は春休みにも来ました。周りは元気が良すぎて将来を不安視していました。それでも約二ヶ月間しっかり道場で活動しました。

そんなＹ君が昨年九月、懐かしくなって立ち寄ったと彼女を連れて訪問に来ました。あれから八年。二十歳の好青年になっていました。話を聞くと、その後高校に進学し、今は大学生との事。振り返ると喝破道場に来ていて良かった、と言ってくれました。目頭が熱くなりました。当時は気づかずとも、人を変えることができるのが喝破道場なのです。

今年は申年、明るく活発に自信を持って活動します。本年も宜しくお願い致します。

―大然記―